

岐阜県芸術文化「顕彰」受賞者一覧

(昭和34年度までは文化助成)

昭和26年度

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1 丹羽 弥 | 河川魚相の生態研究 |
| 2 高山教育研究会 | 飛騨産業誌 |
| 3 恵那教育研究会 | 地域教育計画の学理的実際的研究 |
| 4 豊田 穰 | 創作研究 |
| 5 行動美術会支部 | 美術活動 |
| 6 示現会支部 | 〃 |
| 7 高山音楽連盟 | 社会音楽の研究実践 |
| 8 真桑文楽 | |

昭和27年度

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 9 少年美術研究会 (山田 新吉) | 少年美術の指導 |
| 10 瑞浪美術研究会 (伊藤 鎗一) | 洋画研究指導と産業美術 |
| 11 多治見彫刻研究会 (永井 浩) | 彫刻一般の実技鑑賞と産業文化の向上 |
| 12 竹原文楽 (洞奥一郎) | |
| 13 恵那文楽 (原 淳) | |
| 14 岐阜県演劇連盟 (加藤 宏安) | |
| 15 千村 昭重 | 白と黒一色による新しき陶器のデザイン研究 |
| 16 平光 善久 | 現代詩の創作研究を通じての文学運動 |
| 17 岐阜史学会 (中野 効四郎・吉岡 勲) | 岐阜県郷土史の研究 |
| 18 小川 栄一 | 美濃考古学小川コレクションの創立 |
| 19 永田 捷一・森下 哲夫 | 寄生虫保有に関する研究 |
| 20 杉野 武男 ほか | 県下における生物の総合的調査研究 |

昭和28年度

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| 21 岐大雷鳥クラブ (平吉 功) | 岐阜県山岳地域の調査研究 |
| 22 近世庶民資料調査会
(中野・日置・阿部・松本) | 近世庶民の資料・村落の研究調査 |
| 23 広見青年団 | 郷土史「自隠」の編さん |
| 24 小谷陶磁器研究所 (安藤 知山) | 東洋陶器の復興と技術者の育成 |
| 25 春山塾 (春田 春山) | 西浦焼の復興 (意匠吹付の研究) |
| 26 下呂町青年団 | 団立図書館を通じての社会教育活動 |
| 27 岐阜交響楽団 | 郷土楽団の振興 |
| 28 守 洞 春 | 版画創作と郷土芸術の研究 |
| 29 新製作派支部 (坂井 範一) | 洋画研究と後進の育成 |
| 30 岐阜学生音楽協会 (伊東 恒生) | 音楽研究と郷土楽団の向上 |
| 31 大井文楽 (渡辺 良造) | 人形浄瑠璃を通じての古典芸能の維持普及 |
| 32 半原文楽保存会 (土屋 忠美) | 半原文楽の保存と普及 |

昭和29年度

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 33 小林 良夫 | 「ウソ」の研究・「嘘の話」出版 |
| 34 不破 義信 | 羽島郡史の出版 |
| 35 戸新生活研究クラブ | パン食の普及 |
| 36 県作家協会 (島 秋夫) | 文学創作活動と新人の養成 |
| 37 清楽社 (大沢 繁信) | 書の研究と後進の養成 |
| 38 八耽社 (小島 柴光) | 日本画の研究と後進の養成 |
| 39 安井 万治・平光 善久・宮崎 直一 | 交声組曲「鶉飼」の作曲 |
| 40 路踏志座 (山下 笛朗) | 演劇の研究上演 |
| 41 瑞浪土岐青年演劇研究クラブ | 演劇の研究上演 |
| 42 数 河 獅 子 | 郷土芸能の保存 |

昭和 30 年度

- | | |
|--------------|-------------------|
| 43 河村 定 芳 | 東常縁の研究 |
| 44 野田 穰 | 地形の変化を中心にした川島村の変遷 |
| 45 池本 鉞 三 | 馬瀬村文化史 |
| 46 長谷川 朝 風 | 日本画の研究及び後進の育成 |
| 47 飛騨一彫会 | 飛騨木彫の基本的研究 |
| 48 中津川市音楽協会 | 純正音楽文化の普及 |
| 49 岐阜県歌人クラブ | 短歌の普及並びに後進の指導 |
| 50 岐阜県俳句作家協会 | 俳句文学の普及と後進の指導 |

昭和 31 年度

- | | |
|------------------|-----------------|
| 51 東 哲 郎 | 文学創作活動 |
| 52 光会美術研究グループ | 陶芸の研究 |
| 53 大工学部刃物研究会 | 家庭用刃物読本の編集出版 |
| 54 府中村史研究会 | 府中村史の研究 |
| 55 安江 赳 夫 | 郷土の研究と中野方村史の編さん |
| 56 田中 静 夫 | 郷土における宗教の研究 |
| 57 飛騨郷土学会(桑谷 正道) | 飛騨における郷土史学 |
| 58 祖先文化協会 | 文化財の研究 |
| 59 安 保 生 | 郷土史研究 |

昭和 32 年度

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 60 太田 三 郎 | 中山道美濃 16 宿の研究 |
| 61 上宝村郷土史資料委員会(高井 幹三) | 「上宝村先史時代」出版 |
| 62 恵那市祖先文化研究会(小島 祥瑞) | 簡易草木染ろうけつの研究と普及 |
| 63 三斗工芸社(三宅 武夫) | 地方における演劇活動の強化 |
| 64 劇団「はぐるま」(小林 ひろし) | 演劇を通じての地方文化の向上 |
| 65 劇団木曜座(加藤 宏安) | |

昭和 33 年度

- | | |
|--------------------|--------------|
| 66 岩村町合唱団(丸山 春雄) | 辺地の音楽普及 |
| 67 演研「ありの会」(高橋 道郎) | 演劇の研究普及 |
| 68 山田 純 平 | 陸産貝類の生態研究 |
| 69 高木 重 之 | 和算の研究 |
| 70 屋台研究クラブ(八野 忠次郎) | 飛騨祭りの屋台の研究保護 |
| 71 詩宴社(殿岡 辰雄) | 現代詩の研究発表 |

昭和 34 年度

- | | |
|------------------|------------------------|
| 72 劇団夜明けの会(和田金夫) | 農村演劇の研究・移動公演による地域文化の向上 |
| 73 仮設グループ | 短歌の研究発表・機関誌「仮設」の刊行 |
| 74 吉田 次 郎 | 文化財研究と活用 |
| 75 吉田 幸 平 | 青鎧の研究 |

昭和 35 年度

- | | |
|------------------|---------------|
| 76 岐阜県水彩画会(早川国彦) | 水彩画の向上発展と研究 |
| 77 サチアの会(長尾和男) | 詩文学の向上発展と創造研究 |
| 78 金生山化石研究同好会 | 金生山の化石研究 |
| 79 八幡合唱団(西村雅文) | 地方における音楽活動の振興 |

昭和 36 年度

- | | |
|----------------|-----------------|
| 80 存在社(河田 忠) | 現代詩の創作と研究 |
| 81 飛騨短歌(大埜真霽江) | 短歌による地方文化の向上 |
| 82 劇団すやき(塚本佳和) | 演劇研究ならびに後進の育成指導 |
| 83 大垣合唱団(古館勝正) | 郷土大垣文化の向上 |

昭和 37 年度

- | | | |
|----|---------------|------------------|
| 84 | 河 合 孝 | 写真による輪中の研究 |
| 85 | 高山市民合唱団（山下笛朗） | 合唱サークルの向上発展と育成指導 |
| 86 | 飛騨俳句作家協会 | 現代俳句の進展とその研究 |
| 87 | 林 正 輝 | 職場楽団の育成とその指導 |

昭和 38 年度

- | | | |
|----|---------|------------------|
| 88 | 加 藤 卓 男 | 美濃陶芸の研究とその育成指導 |
| 89 | 本 田 しろき | 歌劇の研究と上演及び育成指導 |
| 90 | 長 縄 士 郎 | 日本画の研究と発表 |
| 91 | 安 江 赳 夫 | 考古資料のコレクションと研究発表 |

昭和 39 年度

- | | | |
|----|---------|---------------|
| 92 | 小 林 義 徳 | 那加町史の研究および編さん |
| 93 | 長 倉 三 朗 | 民族資料の収集 |
| 94 | 佐 藤 弥太郎 | 八百津町郷土史の研究 |
| 95 | 宗 広 力 三 | 草木染および郡上織の研究 |
| 96 | 赤 座 憲 久 | 児童文学の創作活動 |

昭和 40 年度

- | | | |
|-----|----------|---------------|
| 97 | 松 井 利 彦 | 近代俳論の研究 |
| 98 | 土 田 吉左衛門 | 郷土史の研究とその育成指導 |
| 99 | 宮 崎 淳 | たにしに関する民俗学的研究 |
| 100 | 恵 藤 健 一 | 彫塑の研究と発表 |

昭和 41 年度

- | | | |
|-----|----------------|--------------|
| 101 | 樋 口 薫 | 郷土史—特に岩村城の研究 |
| 102 | 浅 見 薫 | 化石採集とその研究 |
| 103 | 岐阜県合唱連盟（鷺見臣一郎） | 県下音楽文化の普及向上 |

昭和 42 年度

- | | | |
|-----|------------|-----------------------|
| 104 | 一 瀬 武 | 美濃焼の歴史の研究と著書の発刊 |
| 105 | 大垣少年合唱団 | 合唱を通じての郷土社会への文化向上への寄与 |
| 106 | 関市連合青年団演劇部 | 青年演劇の研究と公開 |

昭和 43 年度

- | | | |
|-----|---------|----------------------|
| 107 | 伊 東 尚 生 | ギターマンドリンを通じての音楽芸術の振興 |
| 108 | 大 沢 繁 信 | 書作篆刻の研究・書表現の研究 |
| 109 | 小 坂 利 三 | 民謡の保存及びその普及 |

昭和 44 年度

- | | | |
|-----|---------|------------------|
| 110 | 成 瀬 亮 司 | 岐阜県におけるミズバショウの分布 |
| 111 | 石 井 隆 良 | 経木コラージュの創案等 |
| 112 | 松 尾 隆 夫 | 合唱の指導・合唱グループの育成 |

昭和 45 年度

- | | | |
|-----|---------|------------|
| 113 | 恩 田 忠 彦 | 合唱団の指導と育成 |
| 114 | 山 下 利 夫 | 絵画の研究とその指導 |
| 115 | 秋 山 千 枝 | 短歌の研究とその指導 |

昭和 46 年度

- | | | |
|-----|---------|-----------------|
| 116 | 高 牧 実 | 郷土史研究とその指導 |
| 117 | 林 亮 二 | 真桑文学の技術及びその保存 |
| 118 | 小 栗 憲 八 | 逍遥顕彰会の設立、短歌の研究等 |

昭和 47 年度

- 119 井 上 英 一
- 120 能郷の猿楽狂言保存会
- 121 菱 村 正 文

邦楽特に三曲の研究と後継者の育成指導
中世演劇の継承保存と後継者の養成
飛騨を中心とする郷土史の研究

昭和 48 年度

- 122 大 垣 内 宏
- 123 乾 英之助
- 124 高原短歌会（吉田由次郎）

県内産陸棲貝類の調査研究
短歌の振興とその指導
郷土歌壇の振興と作家活動

昭和 49 年度

- 125 岩 間 純
- 126 長良川少年少女合唱団（鷺見臣一郎）
- 127 尾 関 重之助

作詞活動を通じて文芸の振興
郷土における少年少女の合唱活動の普及振興
郷土における美術の普及振興

昭和 50 年度

- 128 岸 武 雄
- 129 高雄歌舞伎保存会（代表 鷺見正介）
- 130 下呂短歌会（代表 斎藤雨女）

児童文学の創作並びにその普及振興
農村歌舞伎の保存と普及振興
短歌の研究、創作、発表を通して地域文化の振興

昭和 51 年度

- 131 温声会（代表 川村 孝）
- 132 小 林 文 一
- 133 岩 島 周 一

音楽文化の振興と音楽教育の研究
美濃焼の伝統工芸の研究と振興
地方における文化振興と後輩の育成指導

昭和 52 年度

- 134 鷺 見 房 子
- 135 岐阜県民謡連盟（代表 尾関正爾）
- 136 田 口 由 美

浄瑠璃作家として活躍
民謡の普及振興
短歌活動とその普及振興

昭和 53 年度

- 137 岩 田 志 ん
- 138 渡 辺 庄 吉
- 139 加子母歌舞伎（代表 安江清三）

音楽教育に専念
郡上本染め保存
農村歌舞伎の保存と普及振興

昭和 54 年度

- 140 安 藤 勲
- 141 金 神 徹 三
- 142 高 島 寂 三

美術の普及振興
写真による人間の本質追究
自由律俳句の普及振興

昭和 55 年度

- 143 吉 岡 勲
- 144 原 田 光 泰（松本団升）
- 145 江馬文書研究会（代表 斎藤 信）

郷土の歴史文学研究
地方歌舞伎の指導
岐阜県蘭学史の研究

昭和 56 年度

- 146 富 長 覺 夢（蝶如）
- 147 竹 本 二葉太夫
- 148 遠 藤 光 洲

美濃の文人の研究
義太夫による地方歌舞伎の普及振興
尺八製管による伝統工芸の振興

昭和 57 年度

- 149 伊 藤 健 吉
- 150 近 藤 博 俊（一鴻）
- 151 笠 井 利 之

雑誌編集等を通しての文化振興
俳句の普及振興
日本画の研究と振興

昭和 58 年度

- 152 宮 崎 直 一 音楽の普及振興
153 近 藤 龍 夫 写真芸術の普及振興
154 白川村民謡保存連絡協議会 民俗芸能の保存及び普及振興
(代表 板谷 一)

昭和 59 年度

- 155 澤 田 保 一 狂俳の普及振興
156 八 野 忠次郎 文化財の保存修理
157 座 馬 乙 丙 (井邨) 書芸術の研究と振興

昭和 60 年度

- 158 小 瀬 洋 喜 短歌の普及振興
159 表佐太鼓保存会 (代表 富田庄一) 民俗芸能の保存及び普及振興
160 林 景 正 (明治) 陶芸の保存及び技術普及

昭和 61 年度

- 161 野 村 芳兵衛 教育文化の普及振興
162 長谷川 謙 三 俳句の創作及び普及振興
163 伊 藤 晃 (天游) 書芸術の研究及び普及振興

昭和 62 年度

- 164 野 田 満 教育文化の普及振興
165 鈴 木 蔵 陶芸の創作及び普及振興
166 篠 田 一 男 (一鳳) 書芸術の研究及び普及振興

昭和 63 年度

- 167 大 橋 桃之輔 陶芸の創作及び普及振興
168 後 藤 秀 男 (英夫) 写真芸術の普及振興
169 横 井 武 彦 (蛙平) 漫画等の創作及び普及振興

平成元年度

- 170 高 橋 俊 示 郷土史の調査・研究と指導
171 小 鷹 ふ さ (ふさ子) 郷土の民俗文化の研究と紹介、著作及び俳句等の文化活動の指導
172 鈴 木 博 信 (薄多久雄) 俳句の創作活動及び普及振興

平成 2 年度

- 173 指 田 隆 三 演劇の普及振興
174 水 野 一 好 洋画の創作及び普及振興
175 山 田 賢 二 詩の創作及び普及振興

平成 3 年度

- 176 佐 藤 芙美子 箏演奏を通じての音楽の普及振興
177 高 間 新 治 写真芸術の創作活動とその普及振興
178 斎 藤 二 郎 彫塑の創作活動とその普及振興

平成 4 年度

- 179 野 口 初 枝 川柳の創作活動とその普及振興
180 太 田 和 夫 彫刻の創作活動とその普及振興
181 後 藤 孝一郎 能楽の公演活動とその普及振興

平成 5 年度

- 182 太 田 嗟 俳句の創作活動とその普及振興
183 道 下 淳 エッセーの創作活動とその普及振興
184 松 原 日沙史 日本画の創作活動とその普及振興

平成6年度

- 185 伊藤 勝 行
186 箕輪 芳 二
187 島田 律 子 (五島律子)

詩の創作活動と普及振興
日本画の創作活動と普及振興
洋舞の創作活動及と普及振興

平成7年度

- 188 水口 真砂子
189 加藤 賢 司
190 羽土 治

短歌の創作活動と普及振興
陶芸の創作活動と普及振興
郷土民俗音楽の研究と普及振興

平成8年度

- 191 國島 十 雨
192 三宅 雅 子 (雅代)
193 岐阜県郷土資料研究協議会
(代表 伊藤安男)

俳句の創作活動と普及振興
小説の創作活動と普及振興
郷土資料の研究と普及振興

平成9年度

- 194 下川 立 夏 (鐘雄)
195 中島 藍 川 (昇)
196 細江 光 洋 (綱一)

日本画の創作活動と普及振興
書の創作活動と普及振興
写真の創作活動と普及振興

平成10年度

- 197 黒田 淑 子 (鷺見淑子)
198 村瀬 和 子
199 加藤 孝 造

短歌の創作活動と普及振興
詩の創作活動と普及振興及び能楽評論
陶芸の創作活動と普及振興

平成11年度

- 200 久野 治
201 田辺 雅 一
202 三輪 乙 彦

文化活動 (古田織部研究)
グラフィックデザインの創作活動と普及振興
彫刻の創作活動と普及振興

平成12年度

- 203 加藤 幸兵衛 (7代目)
204 松岡 直太郎
205 吉田 重

陶芸の創作活動と普及振興
舞台演出を通して国際文化交流と地域の文化振興に貢献
地域の古典文学活動及び社会教育・生涯学習
活動の振興

平成13年度

- 206 杵屋 勝 哉
207 谷村 眞 一
208 所 鳳 弘

邦楽の演奏活動および普及振興
合唱音楽の指導と普及振興
草木染および組紐の普及と国際文化交流の推進

平成14年度

- 209 大松 節 子
210 木島 泉
211 松山 祐 利

美術館活動及び茶道を通しての芸術文化の普及・振興
染色・文学活動を通しての地域文化への貢献
陶芸の振興と後継者育成

平成15年度

- 212 安藤 利 道
213 坪内逍遙大賞
214 増田 晴 風 (清一)

中山道の調査・研究
「坪内逍遙大賞」実施による市民文化の向上
きりえの創作活動と指導

平成16年度

- 215 安藤 光 一
216 大野 鶴 士
217 月刊西美濃わが街社

陶芸の創作活動と後継者の育成
連句の創作活動と普及振興
月刊情報誌の発行を通じた地域文化の振興

平成 17 年度

218 伊藤 慶 二
219 角田 茉瑛子
220 臥龍桜日本画大賞展

美術・陶芸の創作活動
文学・児童文学の創作活動と普及振興
美術・日本画の美を通しての地域文化の振興

平成 18 年度

221 熊崎 勝 利
222 前越 静 二
223 美濃歌舞伎保存会

美術・日本画の創作活動と地域文化の振興
文学・地域文化の振興と俳句の創作、普及
伝統芸能・美濃歌舞伎の保存、普及振興

平成 19 年度

224 安藤 秀 川
225 小坂 清 治
226 堀 菱 子 (西田 菱子)

書の創作活動と普及振興
郷土史研究とまちづくり活動の推進
染色の創作活動と普及振興

平成 20 年度

227 喜代志 松 治
228 豊田 美枝子
229 実践童話の会

彫刻の創作活動及び普及振興
日本画の創作活動及び普及振興
口演童話の普及と語り部の育成

平成 21 年度

230 木方 今日子
231 玉 賢 三
232 富長 寛 梁

舞踊の普及振興
グラフィックデザインの創作活動及び地域文化の振興
詩の創作活動及び普及振興

平成 22 年度

233 後藤 左右吉
234 東濃歌舞伎中津川保存会
235 真鍋 みさを

短歌の創作活動と普及振興
地歌舞伎の公演活動と振興
音楽ホールを通じた音楽文化の普及振興

平成 23 年度

236 伊藤 百 雲 (政治)
237 神戸 峰 男
238 永田 昌 彦

連句の創作活動と普及振興
彫刻の創作活動と振興
合唱指導と音楽文化の普及振興

平成 24 年度

239 沖野 清
240 加藤 茂 (水万)
241 鈴木 昭 一
<特別賞>
242 大沢 光 子
243 岡部 文 明

洋画の創作活動と地域文化の振興
俳句の創作活動と普及振興
島崎藤村の研究と地域文化の振興
支援活動を通しての文化振興
世界を舞台にした美術の創作活動

平成 25 年度

244 熊谷 博 幸
245 袖垣 治 彦
246 山本 次 能

歴史資料の調査、解読及び保存
版画の創作活動及び地域文化の振興
短歌の創作活動及び普及振興

平成 26 年度

247 青山 双 溪 (双男)
248 倉野 昌 三
249 曾我 軍 二

陶芸の創作活動及び普及活動
音楽文化の普及振興
地歌舞伎の継承及び公開による地域振興

平成 27 年度

- | | | |
|-------|-----------------------------------|--------------------|
| 250 | 平田 賢一郎 (蘭石) | 書・篆刻の創作活動と地域文化の振興 |
| 251 | 美濃和紙あかりアート展実行委員会
(実行委員長 井上 哲也) | 伝統工芸を通じた郷土・地域文化の振興 |
| 〈特別賞〉 | | |
| 252 | 大垣祭保存会 | 屋台・行事の保存継承 |
| 253 | (高山祭保存会) | 屋台・行事の保存継承 |
| | 日枝神社氏子山王祭保存会 | // |
| | 八幡宮氏子八幡祭保存会 | // |
| 254 | 古川祭保存会 | // |

平成 28 年度

- | | | |
|-----|-----------|-----------------------|
| 255 | ウィーン岐阜合唱団 | 合唱を通じた音楽振興と海外との文化交流 |
| 256 | 岐阜県民謡研究会 | 民謡の発掘・研究と普及振興 |
| 257 | 近 藤 誠 宏 | 写真活動の普及振興 |
| 258 | 白雲座歌舞伎保存会 | 地歌舞伎の保存と普及振興 |
| 259 | 藤 掛 廣 幸 | 演奏及び作曲活動を通じた音楽文化の普及振興 |
| 260 | 細 江 和 彦 | 地歌舞伎の保存と普及振興 |

平成 29 年度

- | | | |
|-----|--------------|---------------------|
| 261 | 岐阜県ハンガリー友好協会 | 音楽の普及振興及び音楽を通じた国際交流 |
| 262 | 坂下花馬保存会 | 民俗芸能の保存・継承と普及振興 |
| 263 | 清 水 進 | 郷土史の調査研究を通じた歴史文化の振興 |
| 264 | 荘 村 清 志 | クラシックギターの演奏活動及び普及振興 |
| 265 | 高山少年少女合唱団 | 合唱による青少年の文化活動の振興 |
| 266 | 玉 木 信 久 | 謡曲をはじめ邦楽の伝承及び普及振興 |